

まっすぐ



田中智也
県政レポート
 vol. 1

平成23年7月23日発行

発行人:田中智也 〒510-0839 四日市市青葉町800-92 電子メール:bottlenose@khaki.plala.or.jp
 TEL・FAX:059-353-5995

**たくさんのご意見を
 お待ちしております!**

**ご支援いただき
 ありがとうございます!**



4月の三重県議会議員選挙にて、皆様からのあたたかく力強いご支援により、初出馬ながら当選を果たすことができました。

医療や福祉、教育分野をはじめ、県民の暮らしに直結する課題を中心に、『まじめに』『真剣に』『まっすぐに』取り組み、人々がいきいきと安心して暮らせる三重づくりに精一杯がんばっていきます。

今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

三重県議会議員 **田中智也**

田中智也 県政報告

初登庁!! 議員記章交付していただきました。

5月2日(月)午後1時県議会議事堂のエントランスホールにて、議員記章(バッジ)を県議会事務局職員の方からつけていただきましたが、身が引き締まる思い

と同時に、ご支援いただいた皆様の顔や思いを忘れてはならないと改めて感じました。



で、新しい三重づくりに尽力していく」と述べました。

第2回定例会

5月9日(月) 県議会第2回定例会開会

5月9日から6月28日までの日程で県議会第2回定例会が開会しました。当日は本会議に先立ち全議員説明会が開か

れ、鈴木新知事と初めて正式対面しました。知事は挨拶のなかで「厳しい行財政や景気、東日本大震災などの状況の中

5月12日(木) 正副議長、各常任委員会選出

議長に自民みらいの山本教和議員(志摩市、7期)、副議長には、私が所属する新政みえの中村進一議員(伊勢市、5期)が公職選挙法にもとづく議員の投票により選ばれました。

今回の議長は、全国議長会の会長に就く可能性が高いことから、最大会派でもあり、これまで県議会改革を引っ張ってきた、新政みえから選出されるべきと考

えていましたが、残念ながらありませんでした。次期議長には是非とも新政みえから選出したいと強く思いました。

常任委員会や特別委員会の正副委員長を始め委員についても決定がされ、私は、政策・総務常任委員会と予算・決算常任委員会に所属することが決まりました。

政策・総務常任委員会は政策部、総務

部、出納局、監査委員、人事委員会、選挙管理委員会、収用委員会の所管する議案や請願の審査を行うとともに、所管事項を調査しています。

この間、医療の分野を中心に活動してきた私にとって、三重県の全体的な財政状況や政策について研鑽できる良い機会とも捉えており、全力で取り組んでいきたいと考えています。

5月27日(金) 政策・総務常任委員会開催

5月27日(金)、政策・総務常任委員会が開催され、政策部、総務部、その他部外関係の所管事項の説明がされました。

政策部関係では、「地方分権・地域主権改革について」から「『美し国おこし・三重』の取組について」までの19項目、総務部関係については、平成23年度6月

補正予算の説明などがありました。

委員会の中では、地籍調査の進捗率が平成22年度末で、8.21%と全国平均の49%に比べて極めて低く、県内6の市町が調査を休止していることが報告されましたが、地籍調査は土地境界のトラブルの未然防止以外にも、災害復旧の迅速化

などに効果があることから、なぜこんなに低いのかを質問しました。

政策部は、調査の開始が他県より遅れたこと、近畿圏では住民の地籍に関する意識が低いことなどを理由としてあげ、今後も市町と協議しながら進めたいとしました。

活動報告

- 5/ 1 県中央メーデー
- 2 新政みえ会派総会
- 3 憲法フォーラム
- 8 四日市身体障害者団体連合会総会
- 9 常磐地区防災協議会総会
- 11 常磐地区社会福祉協議会総会
- 12 常磐地区人権同和教育協議会総会
- 常磐地区体育振興協議会総会
- 14 三教組桑名支部総会
- 19 常磐地区青少年育成協議会総会
- 20 四日市市政懇談会
- 22 建労四日市支部運動会
- 26 三重県臨床検査技師会総会
- 28 三教組定期大会
- 29 民主党3区総会
- 30 新政みえ会派総会
- 6/ 1 新政みえ会派総会
- 2 連合三重政策制度要求聴き取り
- 4 退職教職員互助会四日市支部総会
- 7 県友の会四日市支部総会
- 10 新政みえ会派総会
- 11 三重県ふれあいスポレク祭
- 民主党政治スクール
- 17 自治労特定重要港湾等協議会総会
- 18 三教組三河支部総会
- 自治労現業組織集會
- 24 新政みえ会派総会
- 25 三岐鉄道労組労働講座
- 26 日中友好協会総会
- 三重ワーカーズボーリング大会
- 28 各種議員連盟総会
- 29 新旧博物館調査
- 自治労四日市港管理組合労組定期大会
- 30 BCP対策セミナー

6月3日(金) 本会議開催、補正予算案提案

6月3日(金)の本会議において、新知事による肉付け予算ともなる総額313億円の6月補正予算の提案と、今後の県政運営についての所信表明が行われました。そして、知事選の中で見直すとしていた新県立博物館の建設について、「一定の前提(運営費の2割削減など)のもと、基本

的には整備する方向で進める」と建設を続行する考えを示しました。

肉付け予算の柱としては「東日本大震災をふまえた防災・エネルギー対策」「三重の元気を支える雇用・経済対策」「23年度の政策展開」の3つとなっています。

6月17日~28日 政策・総務常任委員会、議会閉会

6月17日、21日、政策・総務常任委員会が開催され「新たな行財政改革について」や「三重県版事業仕分け」などについて審議・調査を行いました。

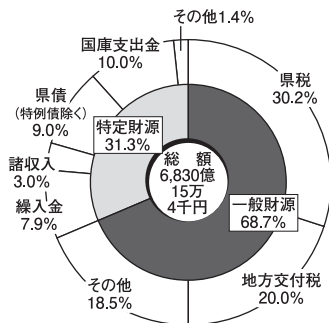
などを全会一致で可決し、第2回定例会を閉会しました。

6月24日の予算・決算常任委員会での審議を経て、6月28日、本会議において本年度一般会計補正予算案や、知事や幹部、管理職の給与を減額する条例案などの14議案、そして県議会議員の政務調査費を20%減額する議案



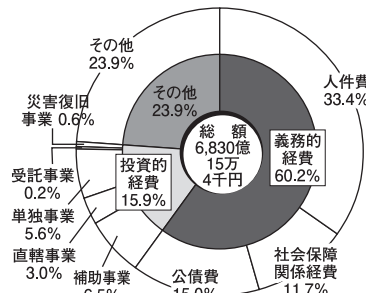
6月補正予算の全体像

◆補正予算規模は313億円。(6月補正後の一般会計予算の規模としては、対前年度比1.0%増の6,830億円で3年ぶりのプラス)



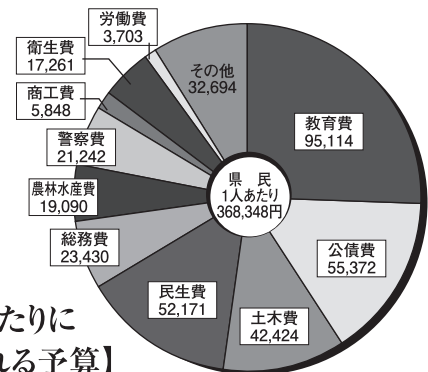
【歳入の構成比】

◆投資的経費について、当初予算は平成22年度の当初予算額の70%程度を機械的に計上していたことから、年間総合予算とするため228億円を増額(6月補正後の投資的経費は対前年度比0.9%減の1,088億円)



【歳出の構成比】

◆知事の給与を減額するとともに、震災の復興支援、防災対策等の課題に対応するため、特別職や管理職員の特例的な給与の減額を実施(三会計合わせて2.8億円)



【県民一人あたりに使われる予算】

東日本大震災現地視察

先日、岩手県陸前高田市と大船渡市の視察に行ってきました。陸前高田市では、今回の大震災により、市の全体の8割が被害を受け、2,000人を超える死者・行方不明者が出ています。市役所においても、4階建ての庁舎全体が津波に飲み込まれていました。大船渡市では、JR駅舎が跡形もなく、ガレキに埋もれた線路がかるうじて駅であったことを物語るっていました。

この悲惨な状況を語り継ぎ、教訓としていく責任があることを改めて実感するとともに、三重県の防災、減災対策を万全なものとなるようしっかり取り組んでいきたいと思ひます。

発刊にあたって...

少し遅くなりましたが、ようやく第1号となる県政レポートをご支援いただいた皆様へお届けすることができました。

1年生の私にとっては、開会から閉会まで、あっという間に過ぎた第2回定例会でした。本会議場での発言の機会は残念ながらありませんでしたが、常任委員会では公共交通政策などについて発言することができました。

9月会議では、「いきいき安心」して暮らせる三重県づくりのためにもっと活発に議論に参加していきたいと考えています。今後も、皆様のご意見や思いを聴かせてください。その声が県政に反映されるよう頑張ります。